

2. 経 営 方 針

(1) 経営の基本方針について

当社は、「生活者に納得していただける優れた医薬品・健康関連商品および健康関連情報・サービスを、社会から支持される方法で創造・提供し、生活者の健康でより豊かな暮らしの実現に貢献すること」を使命としております。当社の経営は、この使命を全うすべく、厳しい国際的な競争の中でも着実に成長発展し続けられるように、一層強固な経営基盤を構築することを目指しております。

(2) 利益配分方針などについて

長期にわたり安定的且つ高水準の配当を継続するとともに、企業体質の強化を図る為、内部留保の充実に努めております。内部留保金は、研究開発投資、設備投資、新規事業開発投資などの基盤強化投資に充当して行く方針であります。

なお、株主様への利益還元策として、当期には1,382千株、約2,863百万円の自社株買い入れを実施いたしました。また当期は1株当たりの普通配当を25円といたす予定ですが、次期につきましては創業90周年記念配当5円を加えた30円に引き上げる予定であります。

(3) 投資単位の引下げに関する考え方および方針等

当社は、株式投資単位の引下げが株式市場の流動性を高め、また広範な投資家層の参加を促すための有効な施策であると理解しており、株式市場で取引可能な株式投資単位に関して適宜見直して行くことを基本方針としております。

しかしながら、現状、当社株式の流動性については十分に確保されており、また投資単位の引下げには多額の費用がかかることから、今後株式市場の要請等を勘案して慎重に対処したいと考えております。

(4) 中長期的な会社の経営戦略などについて

主力のセルフメディケーション事業（一般用医薬品および健康関連商品事業）の拡充と医薬事業（医療用医薬品関連事業）の強化に努めております。

セルフメディケーション事業分野では、健康の維持増進、病気の予防、早期発見、早期治療、軽医療などに関する生活者のニーズにマッチした製品ラインの充実に努めます。そして、医療用医薬品の研究成果やノウハウを応用して、有用性が高く、安全な新製品の開発を進めてまいります。また、スイッチOTCや特定保健用食品事業などの推進にも取り組んでおります。そして、それらの製品が消費者の皆様から評価され、愛用されるようにブランドの育成、強化に努めます。

なお、3年前の規制緩和により「リボビタミンD」などのドリンク剤が医薬部外品に移され、一般小売店でも販売されるようになりましたが、当社は積極的に新たな顧客開拓に注力してまいります。

医療用医薬事業分野では、国際的に通用するオリジナリティの高い新薬の研究開発に努めますとともに、流通面における各種制度や慣行の変革に対応して、販売態勢を整備し、販売効率の向上を図ります。海外開発体制を整備する為、昨年8月に米国ニュージャージー州に子会社 大正R&D USAを設立し、脳梗塞急性期の治療薬の開発に着手しました。

(5) 経営管理組織の整備等に関する施策について

昨年7月には企業倫理を一層徹底させ、社会とともに発展していく経営体制のさらなる強化を図る為、「コンプライアンス統括室」を設置しました。

また、セルフメディケーション事業の環境変化に機敏に対応する為、10月には営業組織の見直し、また本年4月にはマーケティング組織の見直しを行いました。医薬事業分野では昨年8月の 大正R&D USA設立に続き、本年4月には国内医薬開発部門の統合再編を行いました。

また、平成12年度より基幹系システムの再構築を重要課題に掲げ、全社挙げて業務の見直しと情報システムの刷新に取り組んでおりますが、平成15年度には稼働開始の予定であります。